SONY 3-786-387-**03**(1)

NSB1/NSB2 ラジオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICR-N7

    Printed in Japan

主な特長

- ラジオNIKKEI（NSB）専用ラジオ。
- 安定した受信ができるPLLシンセサイザー方式を採用。
- 電波の強い周波数を自動的に選んで受信できます。
- タイマー連動のデジタルクロック内蔵。聞きたい放送を聞きたい時刻に受信することができます。
- フェライトバーアンテナ内蔵。ロッドアンテナがないので、ポケットに入れたまま使うのに便利です。
- 約120分間で自動的にラジオの電源が切れる節電型（パワーオートオフ機能）。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  —温度が非常に高い所（40°C以上）や低い所（0°C以下）。
  —直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  —風呂場など湿気の多い所。
  —窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。
- 常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし清潔に保ってください。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX…………………0466-31-2595
受付時間 ：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

主な仕様

時間表示	12時間表示
受信周波数	NSB1：3.925 MHz、6.055 MHz、9.595 MHz NSB2：3.945 MHz、6.115 MHz、9.760 MHz
スピーカー	直径 3.6 cm 丸型 7.2 Ω 1個
出力端子	◎（イヤホン）端子 （超ミニジャック ø 2.5 mm）1個
実用最大出力	80 mW（JEITA*）
電源	DC 3 V 単4形乾電池2本
パワーオートオフ機能	約120分
最大外形寸法	約57.5 ×95.5 × 16.5 mm（突起部含む） （幅/高さ/奥行）（JEITA） 約57 ×95 × 16.5 mm（突起部含まず） （幅/高さ/奥行）
質量	約73 g（乾電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形乾電池（お試し用*）(2) イヤーレシーバー (1)
イヤーパッド (1) キャリングケース (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

ラジオの音が全く聞こえない。

➔ 乾電池の⊕⊖が逆になっている。
➔ 乾電池が消耗している。
➔ 音量が最小になっている。
➔ ◎（イヤホン）端子にイヤーレシーバーが差し込まれている。

雑音が多く、音が悪い。

➔ 乾電池が消耗している。
➔ 電波が弱い。
建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。
➔ 選局が適切でない。
ラジオNIKKEI受信の場合には、放送時間や周波数にご注意ください。特にラジオNIKKEI第2放送（NSB2）は放送時間帯が限られています。放送時間帯については新聞などをご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

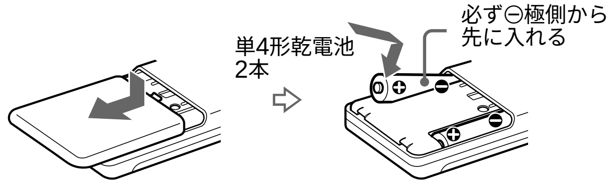
保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

乾電池を入れる



1 **電池入れのふたを開ける。**

2 **乾電池を入れる。**
初めて乾電池を入れると「AM 12:00」が点灯します。時計を合せる時は「時計を合せる」をご覧ください。

3 **ふたを閉める。**

乾電池の持続時間

—**ソニー単4形**（R03）**マンガン乾電池使用時**（JEITA*）
イヤーレシーバー使用時 約26時間
スピーカー使用時 約11時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。また、時計やタイマー受信機能を維持するために、乾電池が消耗すると保護回路が働き、先にラジオの電源が切れて表示窓にBATTが表示されます。音量を上げると電源が切れたり、聞き始めてすぐに電源が切れるときは、早めに乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

乾電池交換時のご注意

電源をいったん切り、30秒以内に交換してください。30秒以上経過すると、現在時刻がAM12:00に、タイマーの時刻の設定がAM8:45になります。

ご注意

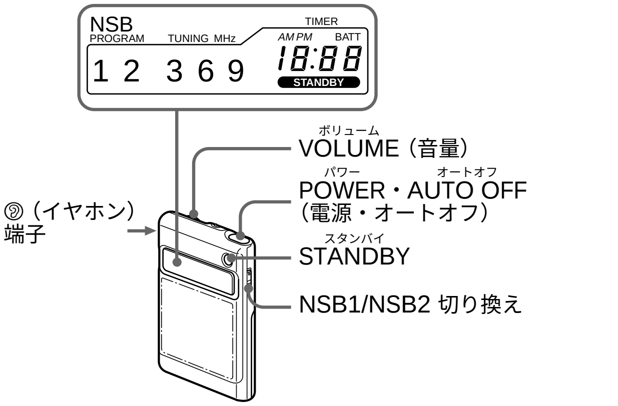
- 長い間乾電池を抜いておくと、現在時刻やタイマーの設定が消えてしまいます。その場合はもう1度設定してください。
- 長い間本機を使わない場合でも、時計と内蔵のマイコンのバックアップのため、乾電池は入れたままにしてください。この場合にも乾電池は消耗するので約1年で交換してください。
- このラジオには電池が消耗したときに、プリセットした内容が消えてしまわないように、保護回路を採用してあります。音量を上げたり、各ボタンを押したときなどに電源が切れてしまうような場合には電池を新しい物と交換してください。

電源が突然切れてしまった！

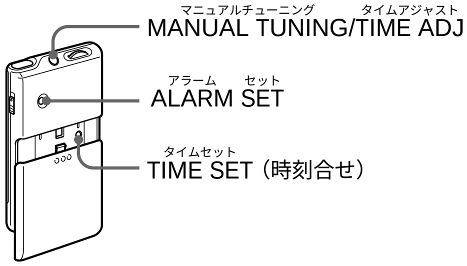
パワーオートオフ機能が働いています。電池のむだな消耗を防ぐために自動的に電源が切れるようになっています（パワーオートオフ機能）。
電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約120分後です。
POWER・AUTO OFF（電源・オートオフ）ボタンを押しても電源が入らない場合や、すぐに電源が切れる場合は、電池がカラになっているので新しい電池と交換してください。
電源が切れた後、さらにお聞きになりたいときは、もう1度POWER・AUTO OFF（電源・オートオフ）ボタンを押します。

各部のなまえ

表面

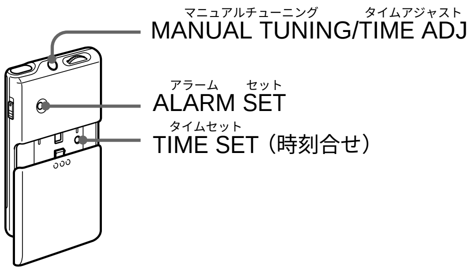


裏面

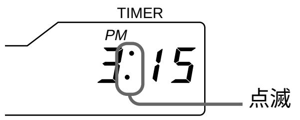


時計を合せる

TIME SET（時刻合せ）ボタンは電池ぶたの中にあります。

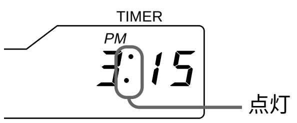


1 **電池ぶたを開けてTIME SET（時刻合せ）ボタンを押しながらMANUAL TUNING/TIME ADJボタンを押して時刻を合せます。**



TIME ADJボタンを1回押すたびに1分ずつ進み、押し続けると速く進みます。

2 **TIME SET（時刻合せ）ボタンから指を離します。**



時計が動き始めます。

秒まで正確に合せるには

分を合せ、電話の時刻サービス（117）などの時報に合せてTIME SET（時刻合せ）ボタンから指を離します。

ご注意

AMは午前、PMは午後です。　AM12:00=真夜中　PM12:00=正午

ラジオNIKKEI（NSB）の受信について

ラジオNIKKEIは、AM放送、FM放送とは異なり、季節、時間、場所によって音が大きくなったり小さくなったり、時には、まったく聞こえなくなることがあります。放送を最も良い状態で聞くために、以下の点を注意してお使いください。

- ラジオNIKKEI第1放送（NSB1）とラジオNIKKEI第2放送（NSB2）は、それぞれの放送内容を3種類の周波数（3 MHz、6 MHz、9 MHz）で同時に放送しています。放送が最もよく聞こえる周波数を選んでください。
- ラジオNIKKEI受信の場合には、放送時間や周波数にご注意ください。特にラジオNIKKEI第2放送（NSB2）は放送時間帯が限られています。放送時間帯については新聞などをご覧ください。
- アンテナが内蔵しているので、ラジオ本体の向きを変えて、最も良く受信できる方向にしてお聞きください。
- 乗り物や建物の中で聞く場合は、なるべく窓際で聞いてください。

ラジオを聞く

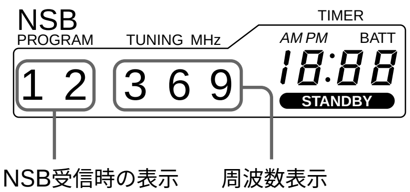
スピーカー または付属のイヤーレシーバーで聞くことができます。

1 POWER・AUTO OFF **（電源・オートオフ）ボタンを押して電源を入れる。**

2 NSB1/NSB2**切り換えスイッチでプログラムを選ぶ。**

選んだプログラムで、最も電波の強い周波数を自動的に選んで受信します。

1：ラジオNIKKEI第1放送（NSB1）
2：ラジオNIKKEI第2放送（NSB2）



3 VOLUME **（音量）つまみで音量を調節する。**

受信状態が良くないときは

他の周波数で聞くと、良くなることがあります。

MANUAL TUNING/TIME ADJボタンを押して,最も良く聞こえる周波数（3MHz、6MHz、9MHz）を選んでください。MANUAL TUNING/TIME ADJボタンを押し続けると、受信中の放送で、最も電波の強い周波数を選んで受信します。

電源を切るときは

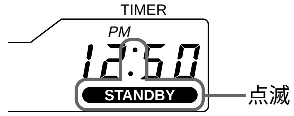
POWER・AUTO OFF（電源・オートオフ）ボタンを押します。

聞きたい時刻に自動的に受信するには

ータイマー受信

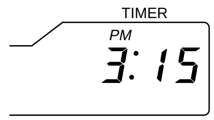
時計を合せてから操作してください。あらかじめ聞きたいプログラムを選び、音量を調節して、電源を切っておきます。設定した時刻になると電源が入ります。

1 ALARM SET**ボタンを押しながら**MANUAL TUNING/TIME ADJ**ボタンを押してタイマー時刻を設定します。**



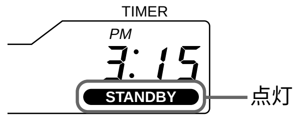
MANUAL TUNING/TIME ADJボタンを1回押すたびに1分ずつ進み、押し続けると速く進みます。

2 ALARM SET**ボタンを離します。**



STANDBY表示が消え、現在時刻が表示されます。

3 STANDBY**ボタンを押します。**



これでタイマー受信の準備ができました。

設定したタイマー時刻になると

最も電波の強い周波数を自動的に選んで、放送局を受信します。受信開始後約120分で自動的に電源が切れます。それ以前に電源を切るには、POWER・AUTO OFF（電源・オートオフ）ボタンを押します。

タイマー時刻を確かめるには

ALARM SETボタンを押します。押している間、STANDBY表示とコロン（：）が点滅し、タイマー時刻が表示されます。離すと現在時刻表示に戻ります。

毎日同じ時刻に受信したいときは

STANDBYボタンを押してSTANDBY表示が出ている状態にしておきます。

設定した時刻にラジオを鳴らしたくないときは

STANDBYボタンを押してSTANDBY表示を消します。

設定した時刻を変更するには

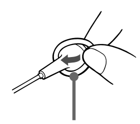
新たにタイマー時刻を設定します。前に設定してあった時刻は解除されます。

イヤーレシーバーで聞く

⑨（イヤホン）端子にイヤーレシーバーをつなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは

付属のイヤーパッドを使います。



付属のイヤーパッド